

平成28年度 障がい者生活ニーズ実態調査 調査結果〔自由記述編〕

○問14 1か月の収入に関する「その他」の主な記述内容

- 雇用保険・失業保険
- 家賃収入・不動産収入・駐車場収入
- 恩給

○問18 日常生活の中の困りごとに関する「その他」の主な記述内容

- 話し相手や遊び相手がいない。
- 家族が遠方に住んでいる。孫やひ孫と遊べる機会が欲しい。
- 外出時の情報や、施設・建物内の情報が少ない。
- エスカレーターに乗った時、どうしても左に立たないと不安になるが左側を空けなければならない様な慣習になっている。
- 自分の意志を言葉で表現できない。
- 中途失聴でしゃべれるため、難聴であることが理解されにくい。
- 医療費が高額。加齢に伴い病院受診料が増える一方。
- 通院が頻繁でしんどい。
- 子どもにとっては、他の子どもがいる刺激は大きく集団に入れたいが、保育園の入所を断わられて行くところがない。
- 幼稚園に通っているが延長保育や集団降園など対応してもらえないため母親が働けない。
- 学校生活で体力がもたないことがある。学校で自分に合った勉強がしたい。
- 持病を他人に言いにくい。
- 働きたいが働くとは病気の症状が出て働けない。
- いつ働けなくなるかわからない。将来が不安。
- 将来の自立に向けた方向が定まらない。
- 携帯電話が使えない。
- すべてに字幕が付いて欲しい。
- 役所に行ってもたらいまわしにされる。必要な情報をもらえない。

○問19 希望する暮らしに必要なことに関する「その他」の主な記述内容

- 社会のユニバーサルデザイン化。
- うまくサービスの型にあてはまらない障がいに対する柔軟な対応。
- 難聴者である事を知ってもらえるパッチ等を作ってほしい。
- 自立して生活しようと心掛けているが、周囲の方々が親切で、それが人に迷惑をかけている様に思えて心苦しい。
- 電動車いすに乗りたい。通院用の乗物も必要。
- 通学にガイドヘルパーをつけてほしい。
- 放課後や土日を通す場所がほしい。安心してショートステイできる所が必要。
- GHは、利用者や世話人との間で話しやすい関係づくりが必要。入所施設は、入所者の立場になって施設が運営されることが必要。
- 今の年金では施設に入所出来ない。体力を維持出来る施設が欲しい。
- 配偶者と同じ施設に入所して暮らせること。
- 何でも気軽に相談できる窓口があり、必要な支援につなげてくれるような仕組みがあるとよい。
- 親に何かあった時すぐにサポートしてもらえる所があること。
- 障がい学生のアルバイトの相談や斡旋をしてほしい。
- 将来に向けての小中学生のための療育の場を設けること。
- 発達障がいを持つ子が安心して通うことができる学校を探している。学校に療育の知識ある先生が増える事が必要。
- 成人の発達障がいの診断。
- 働ける場が多くあり、雇用してもらえること。希望する仕事のレベルアップに向けた個々支援をしてほしい。
- 安定した収入や、医療費・交通費等の無償化が必要。
- 勉強やスポーツを教えてくれるデイサービスを増やしてほしい。
- コミュニケーション訓練。
- 自分にできるボランティア等があればやってみたい。

○問20 外出するときに困ることや不便なことに関する「その他」の主な記述内容

- 標示・標識がわかりにくい。
- 子どもが電車では急行に乗りたがり、普通には乗りたがらない。自転車のうしろに乗せると、立ったり、傾いたり危険。
- 電車の列がわかりにくい。
- 私鉄・地下鉄などの公共機関の運賃割引等の補助の充実があればもっと活動的に外出できると思う。
- 障がいのある人にとって切符が買いにくい。コミュニケーションが難しい人にとって、機械での対応は難しい。
- 地下鉄などの車内アナウンスの内容が聞こえないので、なぜ、停車しているのかなどの情報が分からない。
- 初めての駅で駅員がおらず、インターホン使えと書いてあることには困った。
- バスに乗ると降りたいバス停に着いても気がつかないで降りられない。
- バスに乗ったときにバスの中に忘れ物をしてしまう。
- 無料パスをバスの運転手に見せる時、愛想が悪く障がい者が嫌いなのかと感じる。
- 駐車スペースの確保がしにくい。内部障がい者が車を車イススペースに止めると文句を言われることが多い。
- 見た目では、困っていることが分かりにくいため、支援が受けられない。
- 言葉を発することができないので、意思表示が困難で、理解してもらえないことがある。
- 困った時などに助けを求めても言葉の意味がわかりにくい。手順書や、紙に書いて説明して欲しい。
- 住所をおぼえていない。
- 強迫性障がいなので、戸じまり(玄関のカギ、ガスと元せんの確認)等が気になって困る。
- 歩きタバコの煙。
- 暗い道、暗い公園が帰り道で多い。
- 雨の際、杖とカサの両方が持てない。

○問22 学校で困った(困っている)ことに関する「その他」の主な記述内容

- 学校でいじめにあった。
- 人間関係が不安で緊張が高い。
- 人と関わることが出来ない。人とのつき合い方が分からない。
- 先生によって対応にばらつきがあるので異動のたびに困惑する。
- 支援が必要な子が多く、先生の数は少ないので、教室での学習の時に十分な支援を受けられない。
- 支援学校に通う程度重度ではないが、地域の学校では無理があり、中間施設的な場が欲しい。
- 補助授業が週1日であり少ない。
- 中学で提出する宿題・プリントが多く、管理が難しい。
- 周りの音や声がしんどい。授業のスピードが早くてついていけない。
- 障がいで1年の内半分は寝こむので、大学のカリキュラム通りに出席できない。
- 低血糖の際にすぐ補食できず、手のふるえなどがある状態でいないといけない。
- ST、OT、PTの訓練士が地域の小学校にもいてくれるとわざわざ授業をぬけて別施設に出むかなくてすむ。
- 学生時代に発症したが、それを指摘する大人はいなかった。本人・家族にアドバイスする人や環境がなさすぎる。
- 通学バス内でトイレに行けない。
- お金に困っていて進学できなかった。
- もっと不登校に対応した学校がほしい。

○問23 学校でしてほしい(してほしい)ことに関する「その他」の主な記述内容

- 朝5分間の漢字や計算の復習プリント。個別指導。
- 障がいや病気についての周囲への説明と、理解への働きかけ。
- 静かなクールダウンできる場所と、常に1人の大人がいてほしい。休み時間一人になって怖い。
- 役割を与え、得意分野で見せ場を作ってあげてほしい。
- 出席しないと成績が下がるシステムが、体が弱く、よく欠席する子にとってユニバーサルデザインな学び方ではない。
- 家庭との連携。
- 親にもっと作業所等の紹介をしてほしい。また、先生が作業所に紹介して行けるように話を進めてほしい。
- 療育についての情報を教えてほしい。
- 異性に対しての接し方を教えてほしい。
- 学習、書く事に関しての困難があり、ICTの教育を進めてほしい。

○問24 学習したいと思ったときに困ることや不便なことに関する「その他」の主な記述内容

- 障がい者を対象にした活動がない。
- 何にでも挑戦したいが、不安が先に出る。
- 学習意欲がわからない。気力がない、体がついていかない。
- 市町村、病院、学校、保健センター、家族の連携がまったくできていない。
- 重い障がいの人が多いのに、先生が少なく待ち時間が多すぎる。授業は楽しいのに、待っている時間は楽しくない。
- 勉強したい事、やりたい事がたくさんあっても、病気による障がいによって字が書けなくなってしまった。
- 一人暮らしで歩行器がないと移動できないから、または雨天は外出出来ないから通えないのが現状。
- 自分が家庭と両立して時間の管理ができるか、不安が大きい。
- 求職者訓練を3回受講した。以後、独学で続けているが、企業が求める更に一步踏み込んだ訓練を受講したい。

○問27 働きたい、働き続けたいと思う理由に関する「その他」の主な記述内容

- 生活リズムができるから。
- 生活スキル・職業スキルが身につくから。
- 将来のために貯金をしたいから。
- 家にいてるだけになってしまわないように。
- 障がいをもつ前からの仕事であり、今も続けたいと考えているから。
- 資格を生かしたいから。

○問28 働けない、働き続けられないと思う理由に関する「その他」の主な記述内容

- 仕事がないから。
- 高齢の為。
- 病気や障がいの状態で働ける状況にない。
- 専業主婦だから。
- 育児や孫の面倒が忙しいから。
- 自分の好きな趣味で頑張りたい。
- 働く能力がなく、指示されたようにできないから。
- 仕事の内容をおぼえられないから。
- マンツーマンでサポートしてくれる所がないから。

○問29 働く、働き続けるために、望むことに関する「その他」の主な記述内容

- 家族の理解。
- 勤務時間中は携帯電話を切れという風潮が一般的になっているが、連絡できないと家族関係が維持できない。
- 毎日ではなく、具合の良い時に出来る仕事があれば仕事がしたい。
- 職場の賃金が障がい者の給料で少ない。他の人と同じ仕事をしているのに差別されている。
- 障がい者枠で雇用され、勤務しているが、普通の働きが出来ると認めて頂ければ、正社員雇用を希望。
- 福祉事業所のスタッフは、もっと個々の特性を理解し、トラブル解決に適切に対応してほしい。
- 仕事以外の事(余暇の過ごし方や食事、トイレ等)もサポートしてほしい。
- 自営業を始めるサポートをしてほしい。
- 得意とする部分をいかせる仕事内容にかかわっていきたい。

○問30 受けている(受けたい)リハビリ等の内容に関する「その他」の主な記述内容

- ソーシャルスキルトレーニング。(自立生活のための日常生活・社会生活に関する体験)
- ビジョントレーニング。(視覚機能の訓練)
- 生活面の相談。
- 発達相談。
- 療育。
- デイケア。

○問32 病院での診察時に困ることや不満なことに関する「その他」の主な記述内容

- 病院に関する情報が少ない。
- リハビリを受けることができる病院が少ない。
- 病院が遠い。通院の交通手段の確保がむづかしい。
- 病院までの交通費が高い。
- 車イスの車への収納や、車から移動させるときに負担が大きい。
- 大病院のクーラーの温度設定が低い。
- 診察の順番が来るまで待合室で待てない。安心できるスペースがない。
- 待合室で他の病気をうつされることのないように別室にしてほしい。
- 障がい者をまわりの人に気づかれない。
- 担当医が変わることが多く不安になる。
- 患者が多く、時間をかけて話をきいてもらえない。
- 医師の指示通りに行動できなくて辛い。
- 持病の薬を服用しているので、他の薬と併用して副作用が多く出ないかどうかの判断が難しい。
- 思春期で、告知していない子どもの場合、投薬は今後も必要だが精神科には連れていけない。

○問33 悩みや心配事を相談する人に関する「その他」の主な記述内容

- 自分自身に問いかけ、学習する。
- ひとりで解決した。人に相談するとよけい混乱する。
- カウンセラー。
- がまんする。

○問34 余暇活動に関する「その他」の主な記述内容

- 趣味やお稽古(ジャグリング、サークル、太鼓、ダンス、ピアノ、囲碁、生花、はり絵 等)。
- 福祉施設等の行事(地域の遠足、旅行、ものづくり体験)。
- 友達と遊ぶ。
- ガイドヘルパーとの外出。
- 地域の青年団活動。
- ペットの世話。
- webサイトの制作、インターネット。
- ギャンブル。
- クリスチャンのため教会。
- 図書館で勉強。
- 家事。
- お酒を飲む。
- ドライブ。
- 散歩。
- 電車に乗る。写真を撮る。模型を買う。SNS。

○問35 余暇活動をする上での困りごとに関する「その他」の主な記述内容

- 体調が悪い時はなかなか外に出られない。
- 外出すると疲れて後日寝こんでしまう。
- 重度の障がい者が行ける場所が近くにない。
- 遊園地では小さい子供が利用するようなアトラクションが自分の発達上ちょうど良いが、小さい子に交じって、幼児の乗り物には乗りにくい。
- ボランティア活動が少ない。もう少し多く活動してほしい。
- 親がいないと吸引が出来ず、子どもだけや、他の大人との外出がしにくい。
- 友人のペースについていけないので一緒に遊びたくても制限がある。
- お金の計算・支払いが一人でできるか心配。
- 親のめんどうをみているため、時間がない。
- ストーマ装具の突発的な不具合。

○問36 災害時に困ると思うことに関する「その他」の主な記述内容

- 実際に何をしたらいいかわからない。
- 避難所迄のルートをバリアフリー対応にすべき。
- 荷物が持てない。
- 食事が温かいものが食べれない。不衛生、お風呂に入れない。
- 胃腸が弱く、食べられる物が限られ、しかもペースト食なので、災害時、食べれなくなるのではないかと、とても心配。
- 偏食がひどく、食事の面が不安である。
- アレルギー食物が手に入らないこと。
- 服薬中で疲れやすいので、避難所暮らしが体力的にたえられるか心配。
- 自分の持ち物を、置かせてくれるところがあるか心配。
- ペットと一緒に避難する場所を確保できるか心配。
- 住所をおぼえていない。

○問37 人と話をする時に、今、使っている支援に関する「その他」の主な記述内容

- 何でも「はい」と答えてしまうので2者択一で答えられる形の質問になるような通訳が必要。
- マカトン法。(言語やコミュニケーションに問題のある子どものために、英国で開発された言語指導法)
- 自分がしたい事を支援者の手を引いて知らせる。
- 指差しや片言を相手がくみとる。
- 会話無理のため、動きで理解。
- 表情の読み取り。

○問38 今使っている支援と今後使いたい支援が違う理由に関する「その他」の主な記述内容

- 便利そうで興味がある。
- 人は信用出来ない。
- 手続に費用がかかる。
- 操作を覚えることが困難。

○問39 差別を受けたり、いやな思いをしたことに関する「その他」の主な記述内容

<p>A 学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめにあっていた事がある。 ■登校拒否。ほとんど行っていません。 ■右目欠損のため、よく見られる。 ■真似されたり、コソコソ何か言われたりすることがある。 ■頭髪検査の時に笑われた。 ■呼んでから、だいぶん時間がたってしまい、トイレ介助が間にあわなかった。 ■一人にされることが多いので困る。 ■中学まで普通校で高校から支援学校に入学。環境のギャップにとまどう。本人は嫌な思いをしている。 ■学習内容を、「まだこんなことしてるの？」などからかわれる。 ■担任に「他の子どもの迷惑になり、他の保護者からクレームが出ます」と、クラスから排斥する暴言があった。 ■行動が遅いと、直接言われた。 ■話すことが苦手で、クラス替えで新しい友達を作るのに苦労した。友達が出来ず、独りでの時期があった。 ■グループに入れず一人でさみしかった時があった。 ■紫外線で日傘、帽子をかぶると、校内でジロジロ見られたり、軽視された。 ■修学旅行に行けなかった。 ■障がいについての理解が不足しているのはずれなアドバイスをされる。 ■保育園、幼稚園での入園を断られた。 ■見た目(軽度や体調が良いと)分からないと理解されにくい。 ■エレベーターを使うと、ずるいと言われる。背が小さいので高学年あつかいしてもらえない。 ■板書が見えない。
<p>B 職場 仕事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■自分の気持ちが理解されず叱られる事がある。 ■パワハラを受けたことがある。 ■能力に合った仕事を与えられず長期間放っておかれたり、指導員から体罰を受けることが多い。 ■否定的な言い方をされるのがとてもしんどい。「～しないで」ではなく、「～して下さい」と言ってほしい。 ■コミュニケーションがとれないので、悩みを話せず、自分の中にためてしまう。 ■仕事が遅いとか不器用と言われる。 ■店長がかわるごとに、自分に障がいがある事が伝わっていない。 ■かげ口を言われる。バカにした物の言い方や、笑われたりすることもある。 ■仕事をしたいが、仕事量が限られているので、やりたい要求が満たされない。 ■障がいを理由にクビになった。 ■上司に病名を同僚の前で言われるなど、配慮をしてもらえなかった。 ■「うつ等の精神疾患は存在しない。心が弱いだけだ」と相手にされなかった。医師の診断書も無視された。 ■休みを取りにくい。 ■病気の事を甘えだと言われた。 ■仕事をまわしてもらえない。どうせできないでしょと悪口をいわれる。 ■自営業だったので、仕事が出来なくなりしかたなくやめた。 ■過剰に心配され、仕事配分を勝手に決められる。 ■現場の危険な場所に無理に行かされる。異動を希望しても無視される。 ■トイレにひんぱんに行くが、仕事をさぼっているのではないかと思われる。 ■聴覚障がいのため、人の事を無視したと勘ちがいがされる。
<p>C 病院 福祉施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■男性の先生が苦手。 ■きちんと診察してもらえなかった。歩けるならいいじゃないかといわれ、OTやPTをうけさせてもらえない。 ■職員からの説明が理解できず、治療を恐怖としか捉えられない。 ■待ち合いでおとなしく待たず、診察が苦痛。体力的にしんどい時に横になりたくても、休む場所がない。 ■検査の時に「そんな事も出来ないんですか」とあきれたように言われた。 ■話がうまくできないので、一人で病院や診療所に行くと、相手に正しく病気の状態が伝わらない。 ■気持ちを安定させる為に持っていたグッズを診察のさまたげになると言われとりあげられた。 ■内科に入院した時、精神科のある病院に次から入院してほしいと言われた。 ■病状を説明する際、付き添いの保護者が受け答えすると「お子さんに聞いているんです」と医師に怒られた。 ■待ち合いに届く大きさの声で障がい名を言われた。 ■カルテばかり見て、話をきいてくれない。 ■見た目が元気そうであるため、「どうしてまだ入院しているの？」みたいな態度を取られた。 ■受付でタッチパネル等のサポートがない。 ■病院に障がい者用トイレが少なく、いつもまたされる。 ■マスクを付けたまま話されると口元が見えず、何を言っているのか、わからない。 ■病院の送迎バスを利用しようとしたが車イスのため乗車拒否された。 ■福祉施設での暴言や放置。発達障がいを持っている私を知的障がいだと勝手に決めつけてくる。 ■放デイの希望がなかなかとれない。週に2日以上通ってもらわないとやめてほしいと言われ、心的な負担。 ■施設外就労先で叱責等を受けた。 ■駐車場が無料となることに対し税金泥棒呼ばわりされた。

<p>D お店</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館などの公共の場でうるさいと言われるので、障がい者の部屋を作ってほしい。 ■携帯電話のトラブルなどでショップに行っても、説明が難解でひとりではわからない。 ■行動の切り替えが難しく動けない時に、「閉館なので早く帰って」ときつく言われた。 ■見かけでは区別がつかないくらいの障がいなので、言葉だけのやりとりでは難しい時がある。 ■注文がうまくできない。いつもうまく説明できずあきらめる。 ■メニュー表が非常に見にくく注文しにくい。 ■周りのざわつきにしんどくなってしまう。パニックになるときもある。 ■散髪屋で長時間待たされ、騒いでしまったら、倍料金を請求された。 ■クレームを云ったが真剣に聞いてくれなかった。店員の態度が悪いと抑鬱の引き金になる。 ■店員の対応が雑。お釣りを投げる様に渡された。 ■せまくて移動しにくい。 ■段差があつたり狭かつたりして入店出来ない。 ■トイレが和式だったり、バリアフリーでない店には行けない。 ■減塩をたのむと断られることがある。大型商業施設で、横になりたくても休む場所がない。 ■店員さんが、買ったものを勝手にレジ袋に入れる。「そんなことくらい自分で出来る」という思いがある。 ■異常に気を使われる。 ■聴こえにくいということを感じてもらえない。 ■どう見ても障がい者でない人が運転する車が、駐車区画の優先スペースに停まっている。 ■レストランの予約時などに「健常者は一緒ですか」と聞かれる。 ■杖が邪魔だと持って行かれる。
<p>E 電車 バス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■聴覚過敏であり、駅構内・車内での放送に腹を立ててしまう。 ■バスで、車イスはムリと、3台ほど乗せてもらえなかった。 ■バスでお金を出しづらかったり、手をにぎれなくておとしたり、運転手さんがイライラされる様子が見れた。 ■バスでいつも座る場所に他の方が座っており、こだわりが有るためむりやり座ってしまい、トラブルになった。 ■意図していないのに、「おしりを触ろうとしていた」などと誤解された。 ■味覚が過敏なので、バスのにおいが気になることがあった。 ■声や動作など、マナーから外れた行動が、障がい理由であることを理解してもらえない。 ■満員電車や、人ごみが苦痛であるが我慢しなければならない。 ■手帳による、割引がない。 ■優先座席が、スマホ利用者など一般の方に占領されて座れない事が多い。 ■見た目は健康そうであるため、電車で座っていると、席を立てと言わんばかりに高齢者が目の前に立つ。 ■健康そうに見える私が優先座席座ると、足の色が変だ！と、障がいのことをこれみよがしに言われた。 ■人工肛門のにおいに気をつけているが、回りの人たちが無言ではなれていく。 ■酸素ボンベをのせているベビーカーをたたまずに乗っていることに気が引けた。 ■電車に乗った時、スマホや携帯電話を使っている人が多く、ペースメーカーを入れていると不安になる。 ■料金表が見えない。 ■駅の階段がしんどい。駅で休憩のためのイスの設置が少ない。 ■駅やバスで介助をお願いすると面倒そうに対応されることが多い。 ■入口握り棒横に杖を立てるが、最近は握り棒のない電車があって困る。座って杖を持つと肩が休まらない。 ■障がい者割引の切符を買う方法が鉄道会社によってちがうので面倒。
<p>F 住居 住まい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■騒音等で苦情を言われる。 ■知的障がい、大声を出したり音楽をかけたりすることから、「出ていけ」と書かれた手紙がポストに入っていた。 ■同居人とのコミュニケーションがうまくとれない。 ■親ですら、本人の話そうとしている事が判らない事が多い。若い時は気長に聞けたが80代になるとできない。 ■地域の人と、あいさつなどコミュニケーションができない。 ■近所の人、自分に関するうわさや、個人情報勝手に話している。 ■近所に大学生が多く、やかましい。いたずらのようなことをよくされ、警察をよんだりしている。 ■自分に関することで、裏の人がいちいち警察をよぶ。 ■ホームの仲間とのトラブル。一人になれない。 ■障がい進行しており、入浴が困る。 ■住居がバリアフリーではないので困る。泣いているだけでも「虐待」ととられ通報された事がある。 ■住居が狭く家賃も高い。 ■ホームエレベーター設置を安くしてほしい。階段手摺りは住宅の基礎設備にしてほしい。 ■マンションやアパートにエレベーターがない。 ■老朽化した持家に夫婦二人で住んでいるが、耐震した公営住宅への申込が出来ない。 ■ずっと住みつづけることができず、いつもどこかへ移らなくてはならなくなるが、不動産屋などに信用がおけない。 ■部屋が汚い。 ■カギを持っていない為、夕方帰宅した時に、家族が仕事や学校で不在の時がある。 ■家賃を払ったのに払っていないといわれる。何でも私のせいにされてしまう。 ■心身の状態が不安定になると住居の壁などをこわしてしまう。住まいの状態が年々悪くなり、転居したくなる。

<p>G 近所づき あい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■隣の人にいわれのない苦情や文句を言われた。 ■駐車場の駐車位置が違くと家に怒鳴りこんでくる。何か事件がおこると私が悪いと言われる。 ■公園で遊んでいると周りの子供達に、「なんでしゃべれないの?」「なに言ってるかわからない」と笑われた。 ■小さな子供達に発声をまねたりされる事がある。 ■エレベーターに乗り込もうとしても「開」ボタンを押してもらえない。 ■隣もいるのに、私の部屋にばかりセールス等が来る。 ■マンション玄関の花びんを割った時、すぐに新しい花びんを買ってお詫びしたが言い広められた。 ■近所に自分のことが勝手に話されていることがある。 ■見た目が普通なので「病気しているように思えない」「私より健康そう」と言われ、理解してもらえない。 ■見た目だけでは、視覚障がいを理解してもらえない。 ■聴覚障がいなので、人の事を無視したと勘ちがいされる。 ■話しかけられても、何を言っているのか聞かえず、近所づきあいができない。 ■内臓機能の衰えが主たる症状なので見た目でわかり難く、車椅子で移動していると「甘えている」と誤解される。 ■障がいを知っている方から、親切心から過剰な対応をされた。 ■家族以外とのコミュニケーションがない。 ■隣家の壁を破損した。 ■入所施設で生活中に物を盗られることがある。 ■病気・体調を理解されず、町内会役員をおしつけられた。 ■合同避難訓練の時に「参加します。」と事前に伝えていたのに誰も来なかった。 ■敷地掃除当番が難しくいびられた。地域の防災訓練では自宅待機をさせられた。
<p>H 役所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■人とのコミュニケーションが難しいのに、本人と職員との面談時間が長い。 ■手続きがわかりにくく、書類も多いので大変。 ■一ヶ所で手続きが終わらない。手続きの最中に疲れてしんどくなってしまう。 ■様々な手続きに関する書類がそれぞれ別に届くので、ややこしい。もう少し一括で管理してもらいたい。 ■福祉関係で、本人に便利な情報等は教えてほしい。いつもこっちが気付いて役所に行くパターンが多い。 ■職員の態度が横柄。 ■窓口の職員について、親切な人と、適当にあしらってる人の差がある。 ■障がい理解について職員の知識がたりない。 ■窓口の職員であるにもかかわらず、福祉サービスについての知識が足りない人が多い。 ■役所の人の説明が分かりにくい。 ■役所の受付担当者が言語変換装置に理解がない。 ■状態を知らないのに、上から目線で説明を押し通してくる。笑顔もなく、担当者がすぐ変わる。 ■職員が聞き取り書を作成しなかったことで、2回目に訪れた際、一から話さなければならなかった。 ■過剰な気遣いに気が重くなってしまったことがある。 ■「本人確認」等が難しい身体状態でも、「本人確認」を強要されることが多い。 ■11月から学校に通えなくなる可能性があるのに、教育と福祉の間でおしつけ合いをし、何も解決しない。 ■平日に通える時間、日が少なすぎる。 ■身障の方や福祉で利用できるトイレ、おむつ替えなどできるスペースがない、もしくは狭すぎる。 ■エレベーターが1か所しかなく不便、通路等もせまく車イスが通りにくい。 ■駐車場のポールが邪魔。身障者用の便利なところに駐車する為に一度降りなければならない。